

令和4年度 法人本部 事業報告（概要）

1【計画】

尚仁福社会の総務・経理業務を行う「本部」機能の充実を図る

[結果]

(総務)

電子申請が可能な手続きについては積極的に電子申請を行った。

勤怠管理におけるシステム導入に向けて、システムに求める機能及び導入価格など再度協議検討を行った。

10月からの法改正（社会保険加入対象範囲の拡大）に向けて対象者の確認及び本人への説明を行い、適正な処理を行った。

(経理)

源泉所得税・住民税ともに銀行窓口で納付していたが、ダイレクト納付により納付している。

利用料について、未収金が滞らぬよう管理をした。

税理士の来訪日に財務分析を行った。

インボイス制度について、税理士と検討中である。

2【計画】

組織統治（ガバナンス）機能の強化

[結果]

理事会及び評議員会を開催し、運営状況の報告や体制及び制度について協議した。

毎月、運営状況及び課題について検討している。

3【計画】

人材確保・育成に向けた取り組み

効果的な求人活動を行い、適正な人員配置を行う。

[結果]

①各事業所での取り組みについて、幅広く情報の発信に努めた。

②就職フェアに参加した。

③「適切な人事評価制度の仕組みを学ぶ」オンライン研修へ参加。

④採用担当者の窓口を1本化し、説明会から施設見学までスムーズに行えるようにしている。

4【計画】

地域交流への取組

[結果]

・教育機関への出張授業を行った。

・「地域で高齢者を支える仕組み」についての授業を奥大山江府学園で授業を行った。

・行政との情報交換の場に参加している。

5【計画】

その他の取組

[結果]

施設老朽化について検討する委員会を組織するため人選を行う予定であったが、人選は基礎的な計画を立案後とすることとした。

令和4年度 居住支援法人 事業報告（概要）

1【計画】

登録家賃債務保証事業者へ照会

【経過】

対象地域は江府町としているが、江府町内に賃貸住宅が存在しない。

2【計画】

住宅相談など家賃住宅への円滑な入居に係る情報提供、相談及びコーディネート

- ① 個々の希望に合わせた不動産情報の提供
- ② 賃貸人と要配慮者をつなぐ窓口を設置、賃貸住宅の円滑な入居につながるための情報提供及び、マッチング
- ③ 引っ越しの手伝い、近隣住民へのつなぎ支援、行政手続き支援など入居にあたっての支援

【経過】

法人内の事業所内で要介護から非該当になり、施設を退去する事例があった。事業所から近隣の居住支援法人に相談された。法人内の事業所の方だったので、近隣の居住支援法人と事業所の介護支援専門員と一緒に検討を行った。

3【計画】

見守り等要配慮者への生活相談及び生活支援

- ① 巡回相談、安否確認、生活相談サービス等を行い、入居後の生活支援
- ② 要配慮者のトラブルに横断的対応

【経過】

法人内であったため、事業所と情報共有を行った。

4【計画】

上記業務に付帯する業務の実施

- ① 地方自治体、社会福祉協議会、生活困窮者相談支援事業所、地域包括センター、居住支援法人協議会、居住支援法人等との連携

【経過】

近隣の居住支援法人が担当していた対象者が法人内の事業所を利用していたので、支援会議を実施した。

5【計画】

居住支援協議会への加盟

【結果】

4月：鳥取県居住支援協議会へ加盟

6月：鳥取県居住支援協議会総会があったが、新型コロナウイルス感染症拡大の観点から書面での議決。

8月：第1回合同部会の開催（オンラインで参加）

1月：居住支援関係者意見交換会（オンラインで参加）

3月：第2回合同部会の開催（オンラインで参加）

令和4年度 教育・研修 事業報告 (概要)

1 【計画】

教育研修実施計画

(1) 日程と内容

実施月	実施日	内容
4月	21日 14:00~16:00	① 行動規範を使ったコーチング面談(基礎)
5月	26日 14:00~16:00	② 行動規範を使ったコーチング面談(応用)
7月	21日 14:00~16:00	③ 面談後の振り返り研修
8月	25日 14:00~16:00	④ 面談後の振り返り研修
11月	24日 14:00~16:00	⑤ 研修
1月	26日 14:00~16:00	⑥ 今年度の振り返り
3月	16日 14:00~16:00	⑦ 今年度の振り返り

[結果]

実施月	実施日	内容
4月	21日 14:00~16:00	① 行動規範を使ったコーチング面談(基礎)
5月	26日 14:00~16:00	② 行動規範を使ったコーチング面談(応用)
7月	21日 14:00~16:00	③ 面談後の振り返り研修
8月	25日 14:00~16:00	④ 面談後の振り返り研修
11月	24日 14:00~16:00	⑤ 職場全体に対してのフィードバック
1月	26日 14:00~16:00	⑥ 次年度に向けての打ち合わせ (介護労働安定センター職員1名・ 外部講師・研修担当者3名にて実施)
3月	16日 14:00~16:00	⑦ 主任層に対して、令和5年度のキャリア 研修・キャリア面談についての説明

2 【計画】

新入職員研修

オリエンテーション

接遇・電話応対・社会人としての心構え

[結果]

・新規学卒者のうち介護職員については、毎月、現場リーダーと教育担当者と本人で振り返りを行った。理学療法士については、既存職員が技術的な指導や勉強会を開催し、技術や知識の習得を行った。

3 【計画】

必須研修について

WEB研修を実施

	計画	計画変更後
4月	職業倫理の理解と組織倫理への取り組み	
5月	接遇研修	プライバシーの保護・個

		人情報取り扱いの理解
6月	プライバシー保護・個人情報取り扱いの倫理	食中毒の予防まん延
7月	食中毒の予防とまん延防止	接遇研修
8月	虐待防止に関する理解	虐待防止に関する理解
9月	防災の日（避難訓練）	避難訓練（江美の郷） 6月23日 10月20日 通年動画視聴を実施
10月	不適切ケアを考える 身体拘束を行ってはいけない理由	
11月	認知症ケアの理解・認知症ケアの基本	
12月	標準予防策（スタンダードプリコーション） 防護服脱衣・着衣手順・吐物の処理	

4【計画】

外国人技能実習生の受け入れについて

- ① 入職状況
- ② 受け入れにあたっての環境整備
- ③ 実習生の教育について

【結果】

- ① 入職状況

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で入職の時期が遅れていたが、7月で入職予定者が全て完了した。
- ② 受け入れにあたっての環境整備

生活指導員更新研修は予定通り実施済み。
技能実習指導員講習については更新と新規の予定であった。今年度は2名の新規受講のみとなった。
- ③ 実習生の教育
 - <日本語勉強会>

日本語勉強会の開催をした。
 - <介護技能評価初級試験>

今年度入職した3名に初級試験を実施した。
 - <レクリエーション>

7月は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

令和4年度 特別養護老人ホーム江美の郷 事業報告

(短期入所含む)

1【計画】

特養稼働率96%、短期入所稼働率80%を目指す。

【結果】

入所は、稼働率95.7%、目標比99.7%で未達だった。
短期入所は、稼働率63.3%、目標比79.1%で未達だった。

2【計画】

安心、安全な生活のための健康管理の実施

【結果】

- ・入院者数が50名を上回ったのは8月の83名、9月の78名、11月117名、1月101名で、月平均54.2名だった。RSウイルス、コロナウイルス感染による入院数を除けば、入院者数484名(月平均48.4名)
- ・誤嚥性肺炎発症者4、7、9、12、1、3月1名ずつ。8月2名
- ・尿路感染症発症者12、1月1名ずつ名。
- ・転倒事故等による骨折者1名。
- ・コロナウイルス感染症5名
- ・その他(腸炎、心不全、胆嚢炎、食欲不振、ステント交換)7名
- ・8月～9月RSウイルス感染症の集団感染あり行政報告を行った。
- ・11月コロナウイルス感染症の集団感染あり行政報告を行った。

3【計画】

接遇への取り組み

【結果】

- ・身体拘束廃止、人権啓発委員が中心となり、接遇についての取り組みを進めた。
- ・日々の業務内で気になる声かけ、接遇態度が見られた場合にはその場で職員同士声を掛け合った。

4【計画】

意向に沿った個別ケアの実施

【結果】

- ・該当月の方の受け持ち担当は事前にご利用者の情報シートを記入し、毎月の内部担当者会議で情報を共有している。

<個別ケア・イベント等の実施件数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月
9件	10件	9件	9件	3件	3件
10月	11月	12月	1月	2月	3月
8件	2件	2件	2件	2件	2件

5【計画】

人材育成

【結果】

- ・伝達研修に関しては6月までは食事、排泄、感染症に関して毎月行った。
- ・技能実習生は5月には夜勤業務も立ち上がり、細かい点まで気付く洞察力、ご利用者に配慮した声かけもできるようになった。
- ・高齢の介護職員や介護助手にそれぞれの能力に応じた業務を行ってもらった。

6【計画】

事故報告0件を目指す

【結果】

4月	事故：7件（うち行政報告 誤嚥事故1件） インシデント：2件	10月	事故：3件 インシデント：0件
5月	事故：4件 インシデント：6件	11月	事故：3件 インシデント：2件
6月	事故：13件 インシデント：6件	12月	事故：3件 インシデント：1件
7月	事故：7件 インシデント：3件	1月	事故：14件 インシデント：1件
8月	事故：10件 インシデント：1件	2月	事故：7件 インシデント：4件
9月	事故：4件 インシデント：0件	3月	事故：7件 インシデント：6件

7【計画】

食事内容の充実を図る

【結果】

- ・事故報告3件あり
- ・ソフト食、ペースト食硬さの統一は他部署との連携を取り、改善に努めた。
- ・計画4回の行事食を実施することができた。
その他の行事にも計4回特別な食事提供を実施することができた。
- ・食中毒0件で安全な食事提供をすることができた。
- ・給食会議を月1回行い、食事の改善に努めた。

【地域交流】

1. 保育園運動会の観覧（5月）
2. 家族会の開催（6月）
3. 十七夜参加（8月）
4. 江府中学校の校舎を磨く会への参加（9月／職員5名参加）
5. 秋祭り（9月）

【結果】

- ・実施できていない。

[特記事項]

- ・地域交流については新型コロナウイルスの関係ですべて中止となっている。

【職員教育計画】

資格取得の推進と研修の実施

<結果>

- (資格)・認知症介護基礎研修：受講者 2 名
- (研修)・技能実習指導員研修：新型コロナウイルス感染症まん延のため、研修に参加することが出来なかった。次年度へ持ち越しとする。

- ・WEB研修については下記一覧（一部伝達研修）

4月	倫理・法令遵守の理解	10月	避難訓練 不適切ケアを考える
5月	接遇研修	11月	新型コロナ感染症流行の為中止
6月	プライバシー保護・個人情報取り扱いの理解	12月	認知症ケア ポジショニング・移乗
7月	食中毒の予防とまん延防止	1月	実施なし
8月	虐待防止に関する理解	2月	ガウンテクニック
9月	RS感染症流行の為中止	3月	実施なし

9【行事計画】

4月	花見	10月	運動会
5月	ボーリング大会 6月の作品作り	11月	音楽会 12月の作品作り
6月	和菓子カフェ	12月	クリスマス会
7月	七夕飾りつけ	1月	お抹茶でお茶会
8月	江尾十七夜見学(ベランダで手持ち花火)かミニ夏祭りのどちらかを行う。9月の作品作り	2月	節分 3月の作品作り
9月	敬老会	3月	雛祭り

[結果]

- ・10月の運動会以外は計画通り実施できた。

4月	桜を見る会	10月	運動会は新型コロナウイルス感染症流行に伴い中止
5月	ボーリング大会 6月の作品作り	11月	音楽会 12月の作品作り
6月	和菓子カフェ	12月	クリスマス会
7月	七夕飾りつけ・9月の作品作り	1月	お茶会レクリエーション
8月	ミニ夏祭り	2月	節分 3月の作品作り
9月	敬老会	3月	雛祭り

令和4年度 グループホーム江美の郷 事業報告（概要）

1【計画】

全国平均稼働率 96%以上を目指し安定した運営をする

【結果】

上半期の稼働率 92%、目標比 82%で達成する事が出来なかったが、下半期は 97%、目標比 101%で目標達成できた。

通年では、稼働率 94.9%であったため達成できなかった。

2【計画】

健康管理の実施

【結果】

5月1名、8月2名の入院者があった。1名は慢性の誤嚥性肺炎、1名は脱水、尿路感染症、1名は総胆管結石だった。1月腎盂腎炎にて入院1名あった。

3【計画】

生活の中の「こだわり」を大切にする。

【結果】

ひとり一人の生活スタイルを優先し、食事の時間など本人の希望に沿いながら自由な生活の提供を心掛けた。

4【計画】

認知症の進行を抑制する。

【結果】

季節を感じて頂ける手芸の作成や、行事を提供し楽しみを持って生活が出来るよう支援した。

5【計画】

サービス品質向上のためのセルフチェックの実施

【結果】

法人で行う顧客満足度調査を活用し、サービス品質向上を目指した。

【地域交流計画】

1. 家族交流会の開催
2. 江府中学校の校舎を磨く会への参加
3. 保育園運動会の観覧
4. 十七夜を楽しむ

【結果】

・十七夜自体が花火のみでコロナウイルス感染拡大予防により屋台等中止になったので、祭りに参加することは出来なかったが、グループホーム内で職員が屋台メニュー（焼きそば・たこ焼き・アイス・おにぎり・天麩羅）を提供し全員で花火を見ることが出来たので十分に楽しんで頂けた。

- ・「ながら見守り隊」の登録、参加
- ・江府町文化祭の出展、見学

【職員教育計画】

1. 内部研修及び外部研修会へ積極的に参加する。
web研修を活用し毎月参加出来た。
2. 認知症専門ケア加算要件の研修会へ1名以上参加する。
参加出来ていない。
3. 介護支援専門員に1名以上合格する。
10月受験した(3名)

【行事計画】

4月	花見	10月	花回廊ツアー
5月	藤の花見	11月	紅葉ドライブ
6月	ドライブ	12月	しめ縄づくり 忘年会
7月	納涼会	1月	新年会
8月	江尾十七夜	2月	節分会
9月	敬老会	3月	雛祭り

[結果]

- ・6月ピクニック弁当行事に変更。
- ・7月納涼祭は七夕会に変更した。
- ・10、11月行事は中止した。
- ・12月忘年会は行ったがしめ縄作りはボランティアを呼ぶことが出来なかった為中止した。

令和4年度 デイサービスセンター江美の郷 事業報告（概要）

1【計画】

一日利用者数平均23人を目標に、稼働率75%を目指します。

【結果】 達成できなかった。

2【計画】

季節の変化を感じて頂ける行事の企画や季節の飾りつけ、作品作りをお客様と一緒に作り上げ、達成感や通所への外出意欲向上を目指します。レクリエーション年間計画に沿って、生活行為向上を目指す為の幅広いレクリエーション内容を提供します。

【結果】

年間計画に沿って修正を行いながら目的をもってレクリエーションの提供に繋げる事が出来た。外出は出来なかったが、作品作り等で季節感を出し、お客様にも喜んでいただけた。

3【計画】

事故報告0件を目指します。

【結果】

事故報告が発生した場合、その日のうちにカンファレンスを行い、その場限りにならない再発防止策を立てて全体に周知するよう取り組んでいる。ヒヤリハットについては、事業所のみで記録に残し、翌日朝礼で周知し事故が発生しないよう徹底している。

4【計画】

ホームページの更新や広報誌、SNSを通し事業所の行事等の活動状況をお知らせすることにより事業所への理解を深めていただく。

【結果】

行事の際には写真を撮り、SNSを更新してもらうように記事作成に努めた。

【地域交流計画】

ボランティアを積極的に受け入れ、近隣の保育園、小中学校、高校生等の交流を促進し、地域社会との繋がりを深めていく。

- ・江府町文化祭の参加
- ・ひな祭りコレクションにて江尾街中散歩
- ・江府中学校の校舎を磨く会へ参加
- ・えんちゃんや道の駅への買い物
- ・こどもの国保育園との交流
- ・江府学園との交流

【結果】

コロナウイルス感染予防のため、学校や保育園との交流は出来なかった。中止した行事も多くあったが、エミーズカフェへの外出支援などで喜んでいただけた。2月に小学校の授業の一環で介護の仕事について学習、交流する機会があった。

【職員教育計画】

職員全体が高齢者福祉職員としての責務を認識し、自覚を持ってサービス提供が出来るよう職員の教育・育成を図り、職員の資質により提供サービスに格差が生じないように各種マニュアルを随時見直し、職員の資質向上を図る。

【結果】

- ・介護入門研修（全5回）・・・1名
- ・認知症基礎研修・・・1名
- ・中堅リーダー研修（全5回）・・・1名
- ・事業所内研修・・・防護服の着脱方法・吐物処理
- ・Web研修を活用し、理解を深めた。

【資格取得】

介護支援専門員 受験 1名

【結果】

合格出来なかった。

【行事計画】

4月	変わり湯（花湯） 花見 押し花作品作り 外出支援（花回廊）	10月	運動会 変わり湯（ハロウィン湯） 文化祭作品作り
5月	母の日会 外出支援（エミーズカフェ） 変わり湯（よもぎ湯） 皆勤賞お祝い	11月	江府町文化祭見学 ちぎり絵作品作り 皆勤賞お祝い 変わり湯（柿の葉湯）
6月	変わり湯（菖蒲湯） 父の日会 梅雨作品作り 外出支援（花回廊）	12月	変わり湯（柚子湯） クリスマス会、 クリスマスリース作り
7月	外出支援（道の駅） 七夕飾り 変わり湯（ミント湯）	1月	新年会 初釜 正月遊び・書初め 変わり湯（松の木湯）
8月	夏祭り 変わり湯（ひまわり湯）	2月	変わり湯（みかん湯） 節分 お雛様作り
9月	デイサービス敬老会 文化祭作品作り 変わり湯（コスモス湯）	3月	ひな祭り 変わり湯（ひな祭り湯）

【結果】

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、外出支援を自粛し施設内で可能な行事へ変更しながら概ね計画通り実施できた。

令和4年 まめトレ 事業報告（概要）

1【計画】

一般高齢者利用数 21 名、事業対象利用者 6 名を目指します。

【結果】

- ・一般高齢者の利用者数 13 名で目標未達成。
- ・事業対象者数は 5 名で目標未達成。

2【計画】

月替わりのコーディネーショントレーニングの提供を行うことで、楽しく運動ができる環境を提供する。運動だけでなく、作品作りの機会を作る事で趣味活動を広げ、生活を豊かにする支援を行う。

【結果】

毎回のトレーニングで構成を考えてしっかり 2 時間の支援が出来た為、外出支援をしなくても、ご利用者様が満足感を得られている。

3【計画】

事故報告 0 件を目指します。

【結果】

【地域交流】

- ・江府町文化祭の出展、見学
- ・定期的なえんちゃんや道の駅の利用
- ・奥大山女子まつりなど、江府町のイベント行事への参加

【結果】

コロナウイルス感染予防の為、米子などの人通りが多い所への外出は避けて、道の駅や花回廊等の外出支援を行った。

【行事計画】

4 月	外出支援（花回廊） 誕生月お祝い壁画作成	1 0 月	江府町文化祭作品制作 誕生月お祝い壁画作成
5 月	外出支援（花回廊） 誕生月お祝い壁画作成	1 1 月	外出支援（紅葉見学・鏡ヶ成） 江府町文化祭作品出展、見学 誕生月お祝い壁画作成
6 月	誕生月お祝い壁画作成	1 2 月	エミーズカフェランチ 誕生月お祝い壁画作成
7 月	誕生月お祝い壁画作成	1 月	誕生月お祝い壁画作成
8 月	誕生月お祝い壁画作成	2 月	誕生月お祝い壁画作成
9 月	江府町文化祭作品制作 誕生月お祝い壁画作成	3 月	誕生月お祝い壁画作成

【結果】

4 月、5 月：花回廊外出支援

9 月～：江府町文化祭作品制作を行っている。

【職員教育計画】

法人内外の研修の参加

[結果]

Web 研修を活用し積極的に参加をしている。

令和4年度 訪問介護事業所江美の郷 事業報告（概要）

1【計画】

介護福祉士を中心とした職員で特定事業所加算Ⅰを目指す

【結果】

昨年度同様、介護福祉士の割合は86.9%。体制としては昨年度同様、常勤換算を0.2%クリアしている状況。

2【計画】

営業時間を6時～20時とし、緊急時と夜間加算の算定、年中無休の提供としニーズの幅を広げる

【結果】

6時から20時の営業時間の態勢はとっており対応可能であるが、地域柄もあり、早朝夜間の希望がないのと、平日8時半から17時半の間のご利用者が主で日曜は常勤公休扱いとなっている。昨年同様、職員は兼務含めて4名で常勤換算は平均2.7、非常勤の2名は月合計22日の稼働日数。

3【計画】

職員・訪問介護事業所への評価を実施し、ご利用者満足度の100%を目指す

【結果】

今年度も法人アンケートと、プラン見直し時のモニタリングでご利用者からの評価を頂いた。

4【計画】

営業エリアは江府町を主とし、日野町へのエリア拡大は継続

【結果】

エリア外の対応については、昨年度同様、一度に同じエリアからの相談がある事がないと把握はしているも、職員の増員で範囲を広げてニーズの確保に繋げていく事は考慮したい。各地域の事業所に声をされる前に、我が社に声をして頂けているので、要望に沿いたい。現状では江府町を中心としたエリアで対応しつつ検討していきたい。

5【計画】

ICT機器を有効に使用し、業務の効率化を図る

【結果】

記録システムやアプリを活用し、主に情報共有の面で有効に使用出来ている。

【地域交流計画】

1.各事業所のご利用者及び家族、事業所で働く職員と親睦を図り、訪問介護で得た介護技術と知識を行事の中で提供する

【結果】

昨年度より交流できる機会が増えたと思われるが、安心してご利用して頂くことを優先して対応していきたい。

2. 江府町の地域・ボランティア活動への参加

[結果]

2月に奥大山江府学園「ふるさと魅力発信科」5年「高齢者の暮らしを守る」の一環で特養・通所・訪問介護の職員が説明に伺った。地域の方との交流が制限される中、自らを振り返ったり、高齢者の暮らしを知ってもらうことができ、とても良い取り組みだったと思う。

【職員教育計画】

職員の技術、質の向上を図る

[結果]

今年度も新型コロナウイルス感染症の関係で、Web研修を主に受講した。毎月研修を全員が受ける事が出来、技術・質の向上に活かせたと思う。

令和4年度 居宅介護支援プラントオフィス 事業報告（概要）

1 【計画】

江府町在住の新規利用者に対して関係機関と連携して、スムーズな介護サービスにつなげる。

【結果】

地域に根差した居宅介護支援プラントオフィスとして、江府町町民に寄り添い、手厚い介護サービスを提供できている。

2 【計画】

特定事業所加算Ⅲの維持継続を目指す。

【結果】

継続実施している

【地域交流計画】

【計画】

江府町民生児童委員会への参加

【結果】

9回参加した。

【職員教育計画】

職員教育計画として内部及び外部の研修会へ積極的に参加する

【結果】

(1)令和4年5月31日に「プライバシー保護個人情報取り扱いの理解」のWEB研修を実施した。3名実施した。

(2)令和4年4月28日に「職業倫理の理解と組織倫理への取り組み」のWEB研修を実施した。3名実施した。

(3)令和4年6月30日に「食中毒の予防とまん延防止」のWEB研修を実施した。3名実施した。

(4)令和4年7月29日に「接遇研修」を実施した。3名実施した。

(5)令和4年8月30日に「虐待防止研修」を実施した。3名実施した。

(6)令和4年7月より9月まで介護支援専門員更新研修を7日間実施して終了した。

(7)11月29日「不適切ケアと虐待」と「身体拘束を行ってはいけない理由」web研修を実施した。・・・3名参加。

(8)12月19日「認知症ケアの理解・認知症ケアの基本」web研修を実施した。

(9)2月19日「認知症ケアの理解・認知症ケアの基本」web研修を実施し3名実施した。

(10)2月13日事故防止委員会の「あなたなら事故報告書？ヒヤリハット？」研修を実施し3名実施した。

(11)令和4年7月より8日間の介護支援専門員更新研修を実施する。9月14日終了した。

(12)2月21日13:30～民生児童委員会（本部2階）2名出席した。内容

は「Re:START 支援事業」のひきこもり支援研修をした。

(13) 3月14日9:30～民生児童委員会（本部2階）2名出席しました。
内容は、「自筆証書遺言保管制度について」「相続登記義務化について」
の研修でした

【関連事業計画】

1, 生計困難者に対する相談支援事業（えんくるり事業）を継続実施する。

【結果】 →令和4年～令和5年3月は対象者なし。

2 社会福祉士実習生の受け入れを継続実施する。

【結果】 →令和4年～令和5年3月は対象者なし。

令和4年度 介護老人保健施設あやめ 事業報告（概要）

（短期入所含む）

【目標】

「目標指数：入所稼働 90%」

【結果】

年間平均 80%であった。

1【計画】

「在宅支援強化」

【結果】

在宅復帰は12名（退所全体に対して20%）にとどまっているが、地域特性も加味した上で、在宅復帰に繋がる介護老人保健施設としての役割を果たしていきたい。

2【計画】

「経営基盤の安定化」

【結果】

前年度と比較して収益の改善はみられていない。

3【計画】

「経費管理」

【結果】

前年度に引き続き経費削減には職員一同努めている。

4【計画】

「利用者サポート強化」

【結果】

今年度はリハビリ職員の増加により、利用者様への個別リハビリサポートが充実しておこなうことができた。

ご家族様との面会について、コロナ感染症対策のため制限を設けながらではあるが、喜んでいただけるよう対応している。

5【計画】

「利用者満足」

【結果】

法人全体でご利用者様への顧客満足度調査を実施した。

毎月ユニット会議を開催し、多職種が連携し意見交換を行うことで利用者様へのサービス向上について取り組んでいる。

6【計画】

「安全な医療と介護」

【結果】

特に感染症対策については感染症防止委員会をはじめとして、施設長の指

導のもと全職員が協力して取り組んでいる。

7【計画】

「リスク管理」

【結果】

福祉分野におけるリスクマネジメント研修を受講し職員間で共有するなど事故防止に向けた取組を強化している。

【地域交流計画】

【結果】

コロナ禍により、昨年度同様殆どの行事等が中止を余儀なくされたが、江府町が主導する人権研修へ参加するなど取り組みを行った。

【職員教育計画】

【結果】

コロナ禍により外部研修への参加がなかなか出来ない状態であったが、施設内で各委員会が研修を行うほか、研修動画配信サービスを活用し資質向上に努めた。

【行事計画】

4月	花見	10月	運動会・音楽レクリエーション
5月	藤の花見	11月	ユニット毎のレクリエーション
6月	ユニット毎のレクリエーション	12月	クリスマス会
7月	納涼会	1月	新年会
8月	ユニット毎のレクリエーション	2月	節分会
9月	敬老会	3月	ひな祭り

【結果】

新型コロナウイルス感染症対策の為、外部との交流も外出も出来ない状況ではあったが施設内で楽しめるように職員が銭太鼓や歌唱、傘踊りやご利用者様のメイクアップでの行事参加など、楽しんでいただけるように各部署工夫しながら実施した。

【資格取得計画】

介護福祉士	2名以上合格
介護支援専門員	2名以上合格
初任者研修修了	3名以上合格
実務者研修修了	2名受講
喀痰吸引研修修了	2名受講

【結果】

実務者研修修了者2名、介護福祉士合格者3名

令和4年度 あやめ通所リハビリテーション 事業報告（概要）

1 【計画】

「利用者サポート強化」

【結果】

今年度理学療法士や作業療法士の入職によってリハビリが充実し、ご利用者様個々の状態に合わせたリハビリに取り組むことが出来た。

2 【計画】

「経費管理精度の向上」

【結果】

経費削減には職員一同努めている。

3 【計画】

「経営基盤の安定化」

【結果】

安定した収益を得る為に外部への対応にも力を入れた。

4 【計画】

「利用者満足」

【結果】

広報誌「あやめの便り」を毎月発行し、とても好評を得ている。

5 【計画】

「安全な医療と介護」

【結果】

医療体制については常時看護職員1名の配置とご利用者様自身のかかりつけ医への早期連絡体制で対応している。

6 【計画】

「業務改善」

【結果】

毎日スタッフ会議の実施はしているが、業務改善についてはまでは及んでいない。

7 【計画】

「リスク管理」

【結果】

各種委員会の開催は定期的に行われているが、研修については内部でのネット配信研修を主に実施している。

【地域交流計画】

【結果】

昨年に引き続きコロナ禍により、殆どの行事等が中止を余儀なくされ実施

できていない。ボランティア等の受け入れも出来なかった。

【職員教育計画】

【結果】

コロナ禍により外部研修も出来ない状態であるが、オンライン配信など活用し毎月施設内で各種研修を行った。

【資格取得計画】

介護福祉士	1名以上合格
介護支援専門員	1名以上合格
初任者研修	1名以上合格
実務者研修終了	2名受講
喀痰吸引研修終了	1名受講

【結果】

実務者研修修了者1名、介護福祉士合格者1名、

【行事計画】

4月	おやつバイキング・花見	10月	秋の大運動会
5月	こいのぼり運動会	11月	作品作り・展示
6月	作品作り・展示	12月	クリスマス会
7月	七夕祭り	1月	新年会・書き初め
8月	納涼祭	2月	節分
9月	敬老会	3月	ひな祭り

【結果】

コロナ禍により行事も制限されたが、例年通り職員の創意工夫で利用者様に楽しんでいただいた。

令和4年度 就労継続支援B型事業所江美の郷 事業報告（概要）

1【計画】

平均利用者数10名を達成し、安定的な運営を図る。

【結果】

半期平均通所者数：6.6名

2【計画】

障がい特性の理解。

【結果】

毎月の支援会議を通して利用者の理解を深めていけるよう話し合いながら支援を進めている。コロナ禍での外部研修にはYouTube、Web研修を通して積極的に参加。「発達障害の理解～障がい特性とその対応」については支援会議内で報告を行った。3月には訪問介護事業所と共同で虐待防止研修の報告会と意見交換を行った。

3【計画】

工賃向上に向けた取り組み。（平均工賃20,000円を目標にする。）

施設外就労を増やし、工賃向上を図る。

カフェの年間売り上げ目標4,000,000円を達成する。

【結果】

平均額19,251円。

施設外就労には、現在登録8名がそれぞれに合わせたプランを立てている。

安定していて1日平均約4.4名の方が施設外就労されている。

令和4年度カフェ売上は、合計3,486,438円 執行率98.9%

4【計画】

サービス品質向上のためのセルフチェックの実施

【結果】

個別支援計画は毎月支援会議やモニタリングにて内容の確認を行っている。

【地域交流計画】

1. 江府中学校の校舎を磨く会・・・・・・・・・・中止
2. 小中学校との連携（課外授業・文化祭）・・中止
3. 江府町成人式へのチーズケーキの提供・・中止
4. ひなまつりコレクションへの参加・・・・R5・3月22/23/24飾りつけの有償ボランティアに参加・・～4/2迄エミーズカフェ内に飾り
5. 十七夜等地域のイベント・・・・・・・・・・中止
6. パン教室等の実施・・・・・・・・・・コロナ禍で希望者が集まらない

【職員教育計画】

1. 内部及び外部の研修会へ積極的に参加する。

【結果】

28件の内部及び外部研修会に参加した。

2. サービス管理責任者の研修会へ1名以上参加する。

【結果】

他部署から1名参加した。

【行事計画・地域交流】

4月		10月	
5月	花回廊	11月	
6月		12月	パン作り
7月	カレーライス作り	1月	
8月		2月	
9月	運動会	3月	

【結果】

4月		10月	
5月	花回廊	11月	
6月		12月	スーパーに買い物/美術館
7月	カレーライス作り	1月	
8月		2月	
9月	体育館でバドミントン等	3月	

令和4年度 相談支援事業所江美の郷 事業報告（概要）

1 【計画】

日野町・江府町の委託相談支援事業所としての地域づくり

【結果】

中山間地域においてサービスが十分でない中で支援する困難さもあるが、関係機関との連携や工夫を行いながら対応した。

2 【計画】

計画相談支援・障害児相談支援の実施

【結果】

・サービス提供状況

(1) 3月末現在契約者数 80名（R3年度69名）

(2) サービス等利用計画・継続利用支援件数 245件（R3年度226件）

3 【計画】

Re:STRAT 支援事業の受託

【結果】

把握しているケースについて、江府町担当課と月1回の連絡会議を開催し、情報把握および支援方針の検討を行っている。2月には民生児童委員協議会との共催で研修会を実施し、事業周知や連携のきっかけづくりを行うことができた。

4 【計画】

サービス品質向上の為にセルフチェックの実施

【結果】

月2回程度、個々のケースについて、ご利用者・ご家族の意向の尊重、エンパワメントやストレングスの視点に基づきながら支援状況および支援方針の確認を行っている。

【職員教育計画】

1 【計画】

内部及び外部の研修会へ積極的に参加する

【結果】

- ・強度行動障害支援者養成研修（基礎・応用）
- ・医療的ケア児コーディネーター養成研修
- ・相談支援従事者現任研修
- ・主任相談支援専門員研修
- ・相談支援従事者初任者研修等講師、ファシリテーター
- ・その他、毎月の西部自立支援協議会の事例検討会等にも参加。

2 【計画】

相談支援従事者初任者研修へ1名以上参加する

【結果】

法人内から2名参加。